

【活動報告】夏休み小学生向け自主事業 第1弾

親子科学教室

「せっこうで手のレプリカをつくろう」

7月25日に親子科学教室を行いました。

指導していただいた「都筑親子科学クラブ」は20年前に発足し、理科が大好きなメンバーが集まって活動している団体で、今回は矢田部先生以下4名の方が来られました。

10人の小学生が手のレプリカをつくります。

①まずビーカーの中に型取剤（ゴム）を水に溶かし、②そこに手を入れて底につかないように注意しながらじっと5分間待ちます。手がビーカーの底につかないように浮かせていないといけなくて長く感じます。固まったら手を抜いて、③次は石こうを溶いて、④型に流し込みます。

固まるまでの30分間、⑤持ち帰りのための紙バッグを作ります。あらかじめ線が描かれた紙が配られ、線に沿って切り込みを入れて折り曲げると、テープなど使わずにバッグができあがり。

⑥さて、いよいよ型を取りだし、ゴムの型をおくようにしてはずしていくと、白い石こうの手が現れてきて思わずにっこり。

それぞれ初めての体験を楽しんだ様子で、バッグに入れて持ち帰りました。

石こうはずっと残るので、夏の思い出とともに今日の自分の手が残ります。

1時間半少々でここまでできたのは、事前に一人ずつ材料を分け道具をそろえて準備してていねいに指導してくださった科学クラブの皆さんのおかげです。ありがとうございました！



① 型取剤を溶かします



② 手を入れて待ちます



③ 今度は石こうを溶いて



④ 流し込みます



⑤ 紙のバッグづくり



⑥ 型をはずしてできあがり